

八王子市の がん検診受診率向上の取組について

平成25年5月15日

八王子市健康福祉部地域医療推進課
課長補佐(成人健診・がん検診担当) 菅野匡彦

八王子市のプロフィール

東京都心から西へ約40km(新宿から電車で約40分)、面積186.31km²

大正6年の市制施行から90年を経た現在、人口564,500人(H25.1.1住基)

多摩地区の中核都市、21の大学を抱えた学園都市として、発展を続けています。

ミシュランガイドで、富士山と並び★★★獲得の高尾山(年間登山客250万人)を擁しているほか、観光大使として歌手 北島三郎さん、ファンキーモンキーベイビーズの3人、車人形の西川古柳さん、将棋の羽生善治さんら八王子ゆかりの方々活躍しています。

八王子市が行ったこと 平成22年度 がん予防・がん検診に関する調査 兼 5がん受診勧奨

対象者 | 8,000人 回収率 | 58% (記名式)

市民全体の傾向

◎市のがん検診制度を知らないと答えた人  **53.1%!!**※3

——これらの市民にきちんと制度の周知を行っていくことが重要。

◎未受診の理由

40-50歳代 | 忙しい。

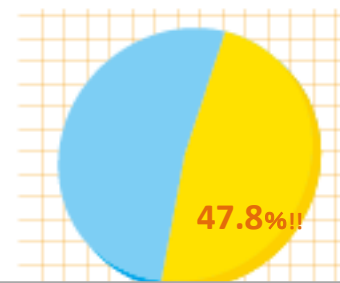
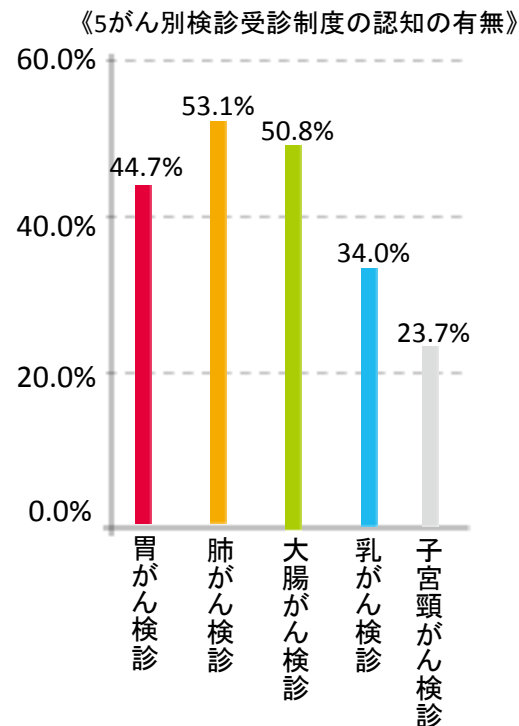
60-70歳代 | 心配な時はいつでも医療機関を受診できる。

(かかりつけのお医者さんがいる)

◎市のがん検診事業への要望

「医学的根拠※4に基づいた効果のあるがん検診を実施してほしい」 が第1位！

——行政としての制度整備が必要。



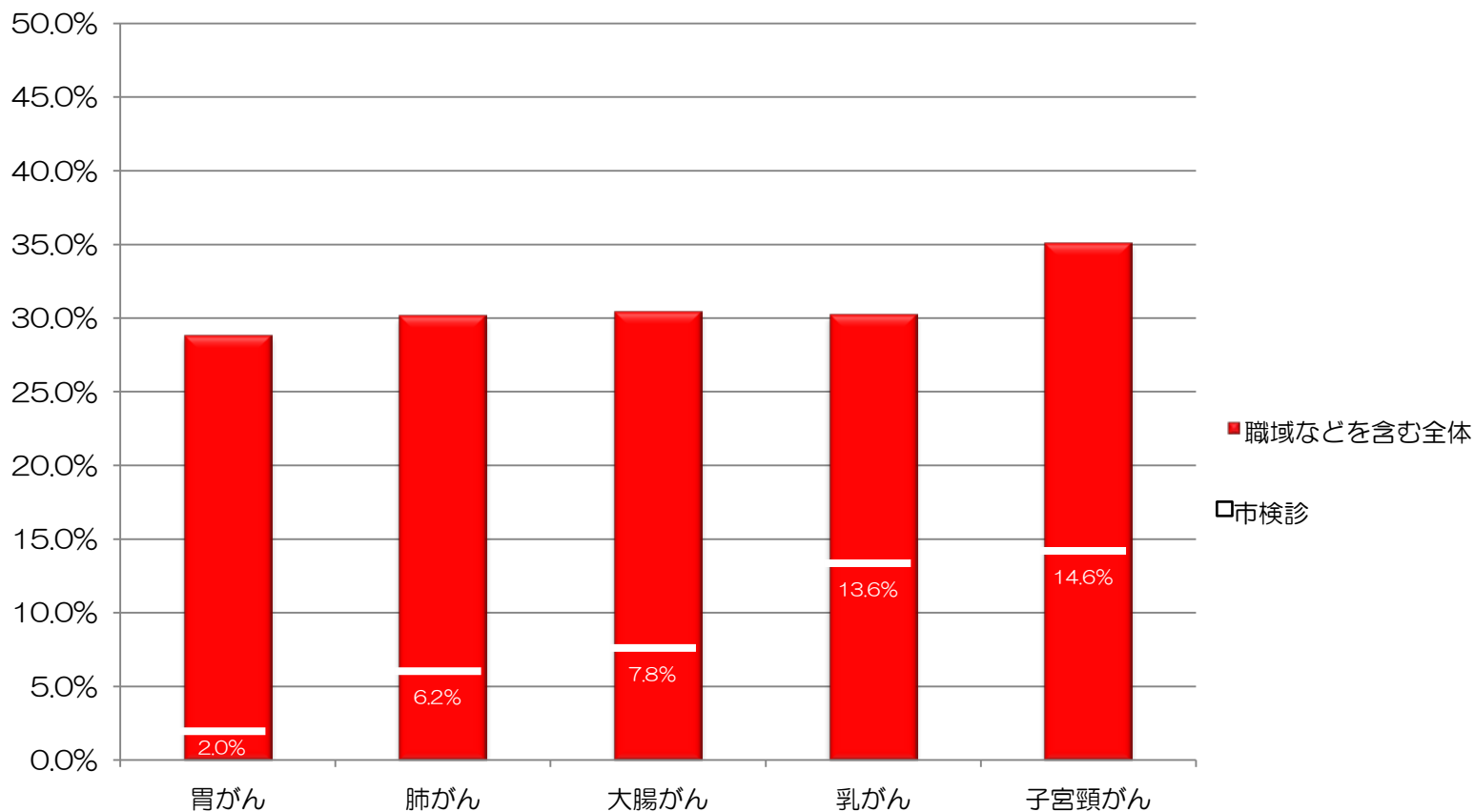
※3肺がん検診調査結果。最も認知度の高かった子宮頸がんの調査結果は23.7%。

※4がん検診について、指針などでは「科学的根拠」という言葉が多く使われていますが、一般になじみが薄いと思われるため、「医学的根拠」と言い換えてアンケートを実施しています。



受診率目標50%に対する八王子市の現状

図. 本市における5がん検診推計受診率

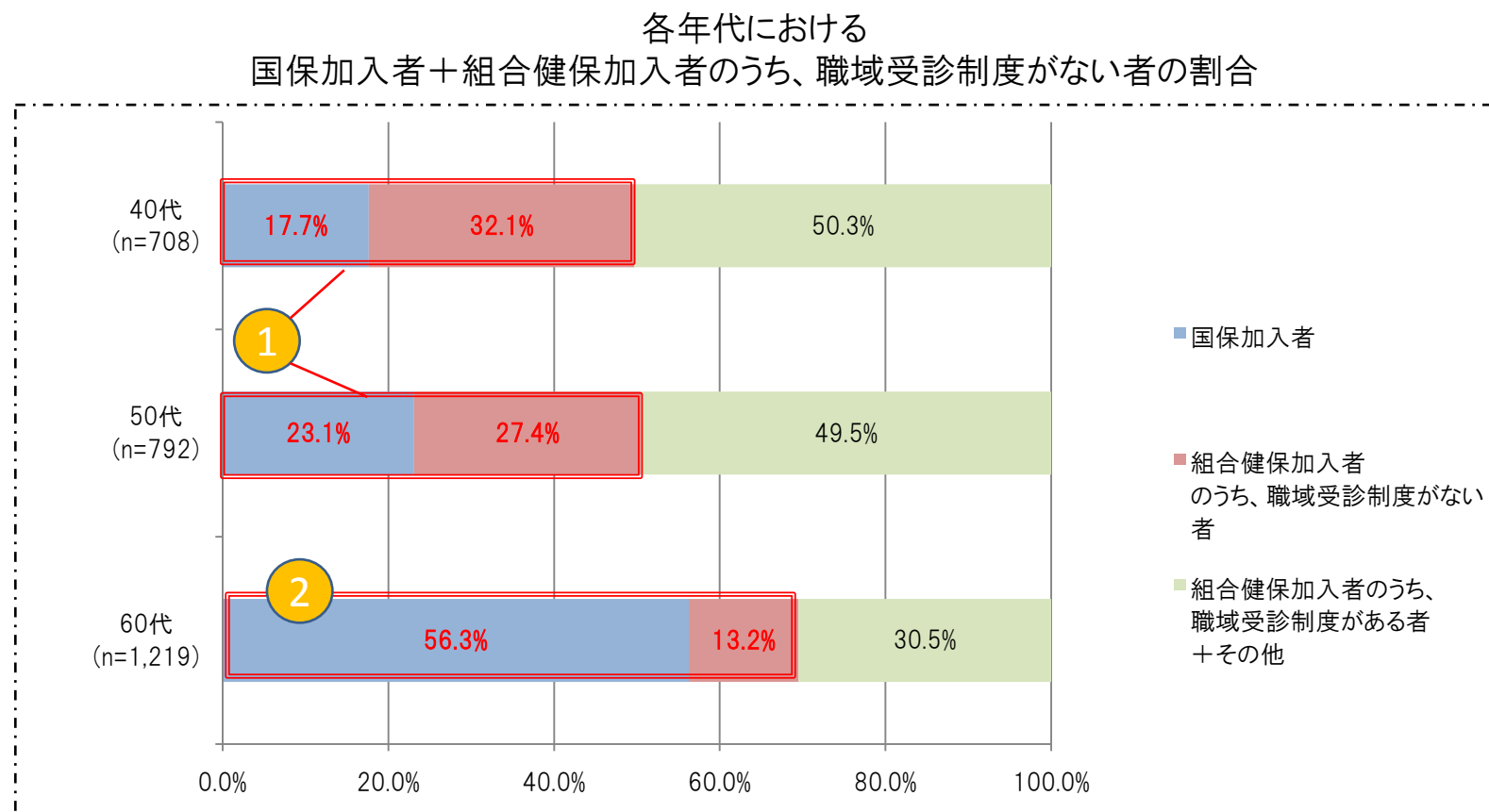


市検診受診率 八王子市がん検診受診率(平成23年度)
市検診以外受診率 八王子市がん予防・がん検診に関する調査 41～69歳データ(平成22年)

*白抜きの数値は、自治体検診のみの受診率を示す。

個別受診勧奨・再勧奨の対象とすべき住民層

- 1 40—50代は国保加入者の割合が少ないため、個別にがん種別の受診勧奨を行うことで継続受診を促すことが重要
- 2 60代は退職により国保加入者の割合が多くなるため、特定健診との同時実施によりがん検診の受診率を効果的に向上させることが可能

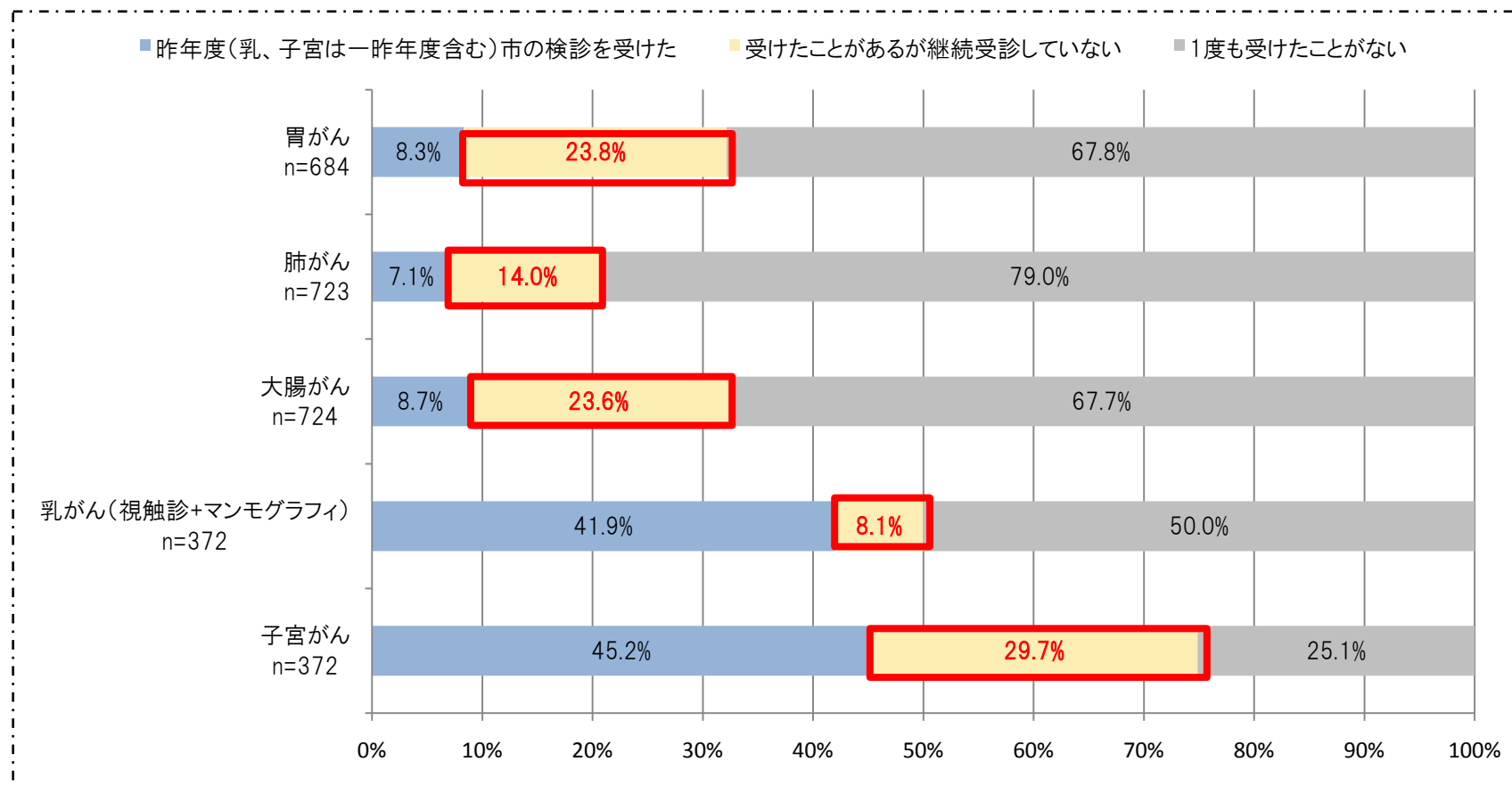


*41歳—69歳の国保加入者のみの調査データを用いた。 4

個別受診勧奨・再勧奨の対象とすべき住民層

実際に、40—50代のうち、「検診を受けたことがあるが継続受診していない」者が一定数存在しており、これらの対象者を継続受診に導くためのアプローチが求められる

40—50代のうち、職場に機会を持たない者における検診受診経験の有無



*41歳—59歳のうち、各がん検診について「職場に機会がない・分からない」と答えた者の調査データを用いた。

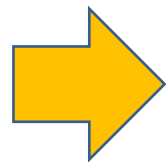
個別受診勧奨・再勧奨の対象とすべき住民層

1) 効果的と考えられるアプローチ(年代別)

- ✓ がん検診の導入年齢となる40歳には受診のきっかけの提供
- ✓ 国保加入者の少ない40－50代には個別・がん種別の受診勧奨
(制度を知らない人への制度の周知、受けたことがある人への継続受診の働きかけ)
- ✓ 国保加入者の多くなる60代には特定健診との同時実施の促進

2) 住民に対する効果的なメッセージ

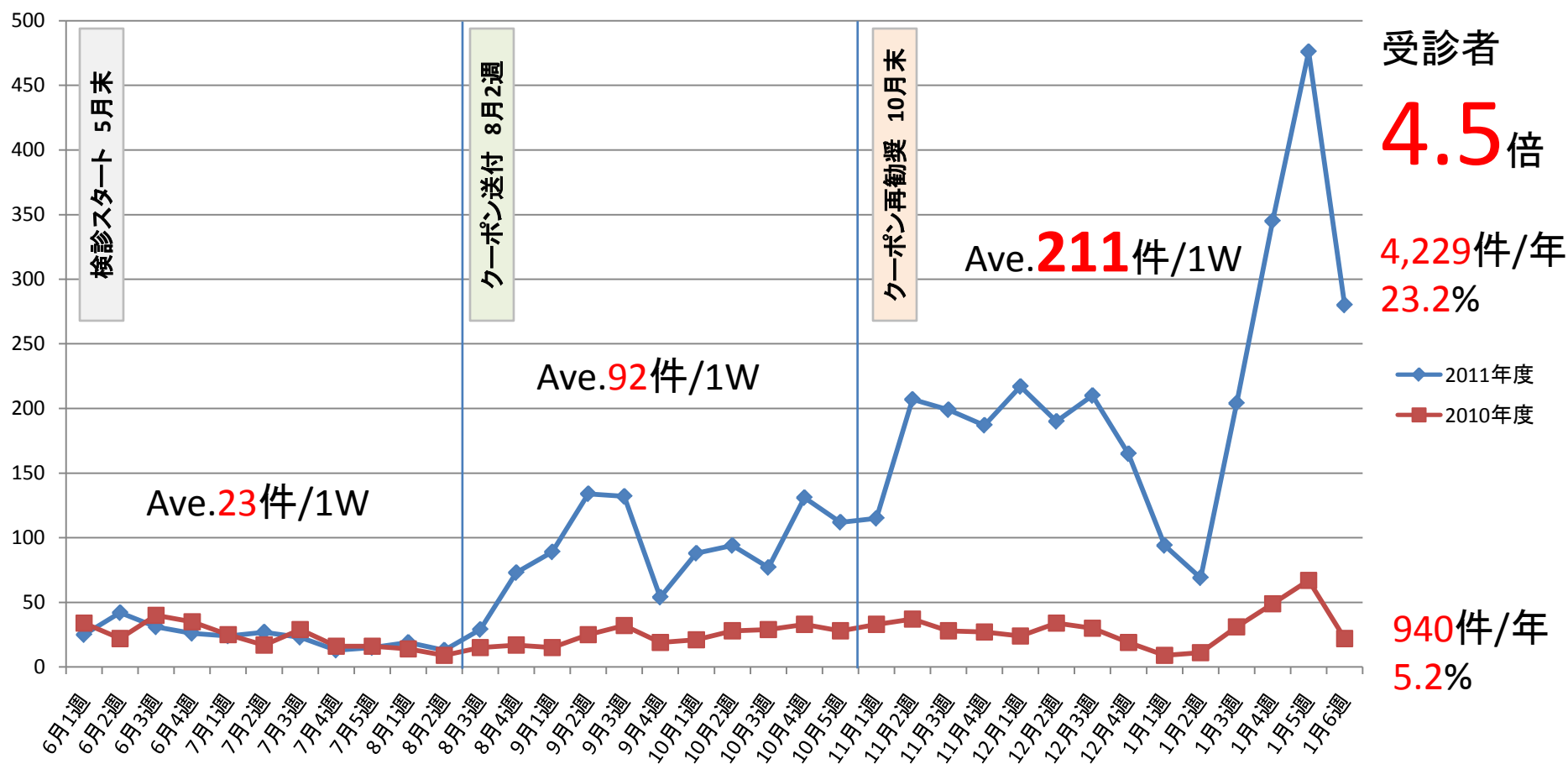
40-50代において、「忙しい」が、最も多く、継続受診につながらない要素となっている。胃・肺・大腸がん検診では「会社の検診内容にないから受けない」、つまり市のがん検診受診制度をよく知らない傾向が見られる。また乳・子宮がん検診では「面倒である」「忙しい」という意識が強く、検診の優先順位が下がっていると考えられる。



したがって、個別勧奨により、制度を知らない人に市の検診制度の周知を図るとともに、受けたことがある人への継続受診の重要性の周知を図ることが必要で、お得感といったメリットや、検診の有効性の訴求を行っていくことが重要。受診歴の有無によりメッセージを変えて送り分けることも考えられる。

子宮頸がん検診クーポン受診動向

2011年度クーポン配布者 18,197人の2010年度と2011年度の受診動向の比較

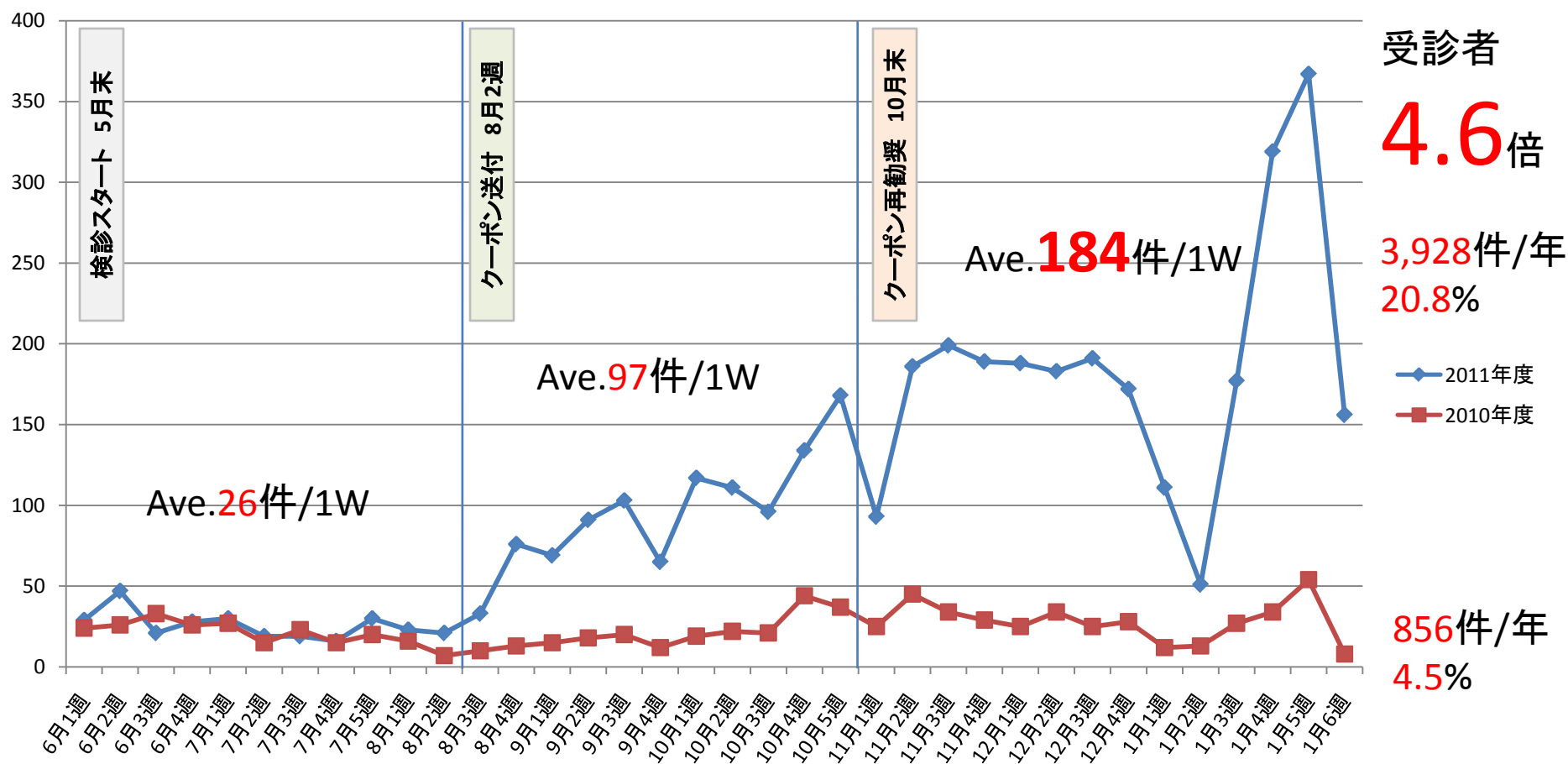


※1 八王子市では、2年に1回の検診を勧めつつ、受診の機会を毎年度設けています

※2 転入、転出、死亡等の要素は加味していません

乳がん検診(マンモ)クーポン受診動向

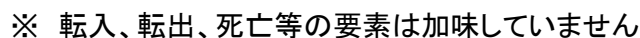
2011年度クーポン配布者 18,854人の2010年度と2011年度の受診動向の比較



※1 八王子市では、マンモグラフィによる乳がん検診を2年に1回としていますが、クーポン利用に限り受診可としました

※2 転入、転出、死亡等の要素は加味していません

2011年度クーポン配布者 38,338人の2010年度と2011年度の受診動向の比較



受診勧奨例 乳がん検診 (ポジティブ)

乳がん検診の流れ

Step 1.

実施医療機関に直接予約

以下リストをご覧ください。

Step 2.

受診

医療機関で、保険証を提示。受診費用を支払い受診。

Step 3.

結果を聞く

受診した医療機関で、医師が説明します。

今年度、既に市の乳がん検診「視触診のみ」または「マンモグラフィ(視触診)」を受診された方は、今年度に検診にお越し下さい。

実施医療機関一覧

平岡町	飯島外科病院	622-4061
本町	右田健診クリニック	621-4655
明神町	エヌ・エヌクリニック	648-6455
明神町	仁和会総合病院	644-3711
子安町	北原ライフサポートクリニック	655-6665
三郷町	八王子乳癌クリニック	655-6355
中野山王	八王子山王病院	626-1144
大和田町	北原クリニック	656-2221
南大沢	南大沢メディカルプラザ	670-2480
豊田町	南多摩病院	663-0111
鹿町	東京医科大学八王子医療センター	665-6611
北野町	むらやま外科クリニック	648-0677
石川町	東京大学八王子病院	639-1111

ここから
さがしてください。

POSTCARD

近年、日本人女性の16人に1人が
乳がんにかかると言われています。^{※1}

クラスのお母さん
の中に1〜2人いる
ことになります

セルフチェック
だと遅いかも…



乳がんは40代の女性のがん死亡率第一位^{※2}

日本では、年間約1万人の女性が乳がんでなくなっています。
40代と50代は特に乳がんにかかりやすい年代。

※1 国立がん研究センターがん対策情報センター
※2 国立がん研究センターがん対策情報センター

早期のうちに治療すれば約98%が
治ります。



乳がんが検出されるのは大きくなってから
(1cm)「I期(早期)」の次の「II期」に入るまで
の間が2年弱。早期に発見するためには、2年に
1度、検診を受けることが大切です。

治療後の5年生存率は

I期(早期)	98.9%
II期	93.3%
III期	71.3%
IV期	31.4%

国立がん研究センター

視触診だけでは見つけることが難しい。

自己触診や、医師による視触診だけでは、早期での発見が難しい乳がん。
早期発見のためには、定期的にマンモグラフィと専門の医師による
視触診を受けることが大切です。



マンモグラフィはこんな検査です。

マンモグラフィは、
いわゆるおっぱいの
レントゲン

マンモグラフィは乳房X線とも呼ばれる。
おっぱいのレントゲン。
プラスチックの板と撮影台に乳房を
挟んでとからレントゲンを撮る。



3秒くらい、じっとして
…撮影終了！

1cm程度のしこりも
見つけられる
優れた画像検査法。

マンモグラフィは1cm程度の
しこりまで見つけられる。
優れた画像検査法。

乳がん検診ではマンモグラフィのみならず、問診、視触診、必要に応じて
自己触診法の指導もやってくれる。
もし乳房の痛みがあったら先生に相談してみよう。



八王子市より10,000円助成があります。

乳がん検診(マンモグラフィ)は個人診療の場合、10,000円を超える高額な
検査ですが、40歳以上の女性(昭和48年3月31日までに生まれた方)が
市の検診を受けると、市から約10,000円の助成を受けていることになり
ます。(自己負担1,600円)

検査費用	約11,600円
— 助成金	約10,000円
自己負担金	1,600円



※ 助成金が支払われるわけではありません。

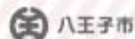
今年度の受診期限は、平成25年1月31日

例年、受診期限が近づくと大変混み合います。お早めにご予約・ご受診ください。

八王子市 南郷 福祉部 地域健康推進課
〒190-8501 八王子市南郷町3-4-4
電話 042-624-0129 FAX 042-621-0279

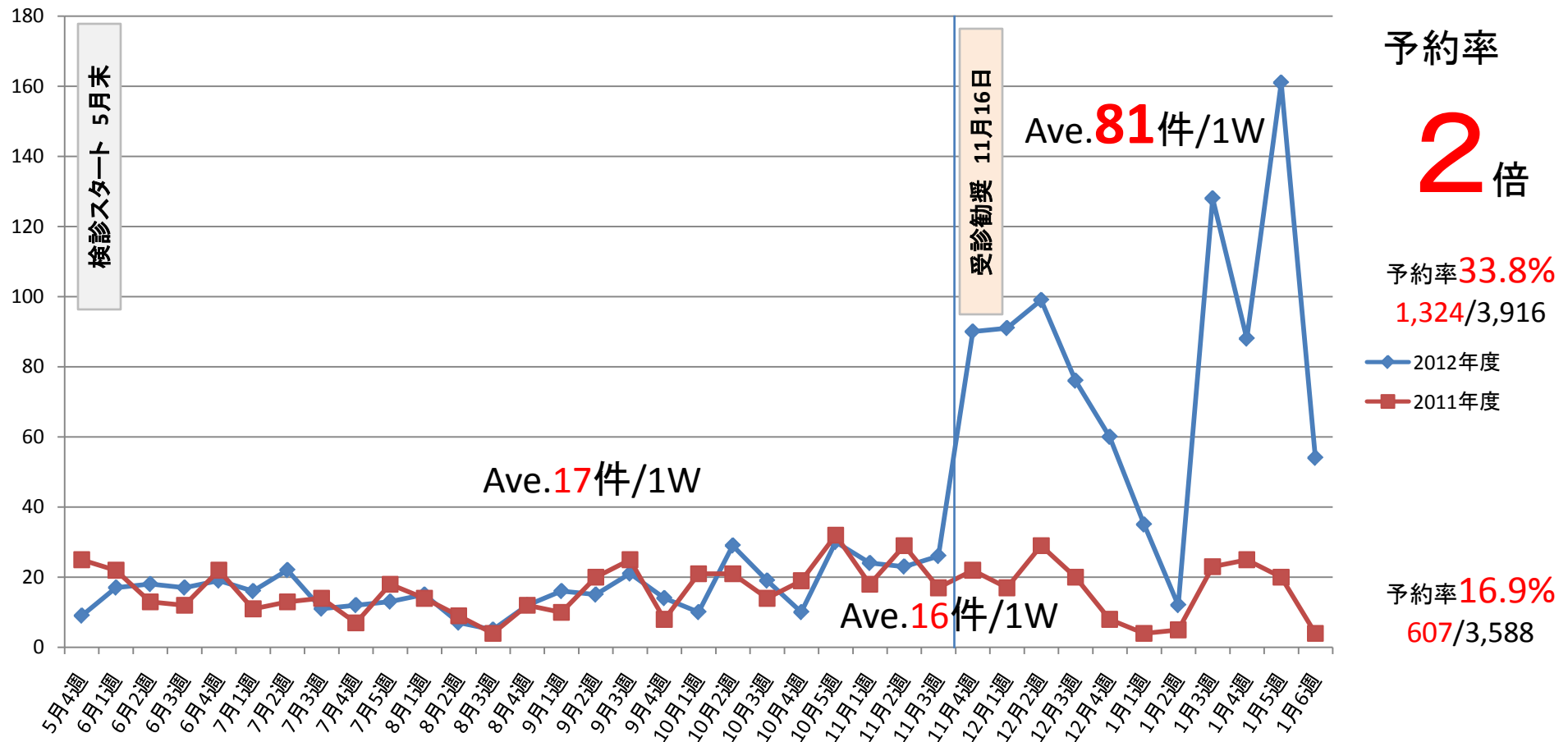
平成24年度 八王子市
乳がん検診のご案内
命に関わる大切な検診、
忘れないでください。

自己触診では見つかからないがんの早期発見につながる
マンモグラフィ検査。ぜひ、この機会に乳がん検診を受けましょう。
また、八王子市より10,000円助成されます。
乳がん検診は、2年に1度の受診が推奨されています。



子宮頸がん検診受診勧奨予約動向

2009年度と2010年度クーポン受診者、2年後の受診予約動向の比較



※1 八王子市では、2年に1回の検診を勧めつつ、受診の機会を毎年度設けています

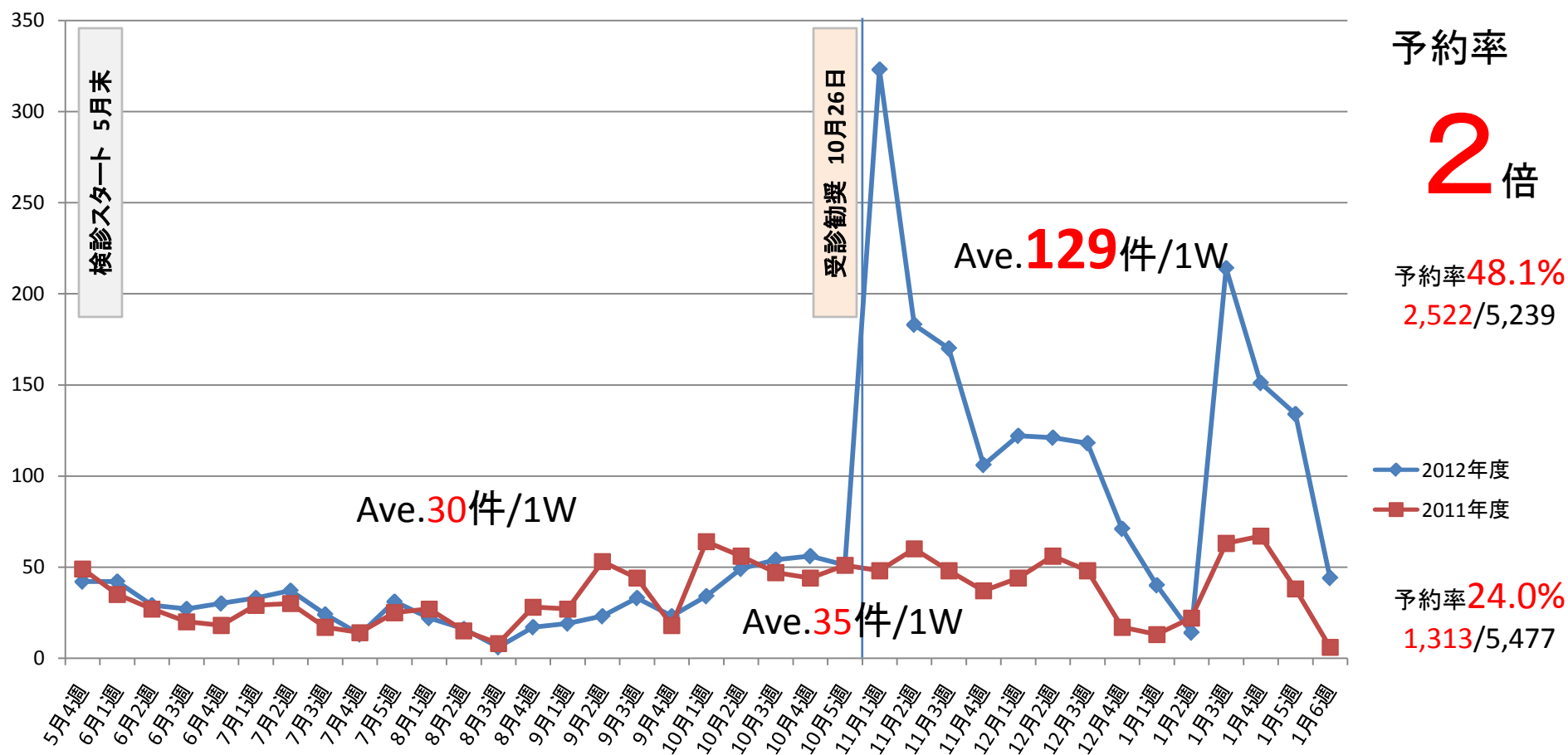
※2 転入、転出、死亡等の要素は加味していません

※3 予約動向のため、カラ予約や二重予約が含まれ最終的な受診者数、受診率とは一致しません

※4 事業は東京都医療政策包括補助メニュー がん検診受診率向上事業(補助率10/10)を活用して行いました

乳がん検診受診勧奨予約動向

2009年度と2010年度クーポン受診者、2年後の受診予約動向の比較



※1 八王子市では、視触診のみとマンモグラフィ併用の乳がん検診を実施しており、両者合わせた予約状況です

※2 転入、転出、死亡等の要素は加味していません

※3 予約動向のため、カラ予約や二重予約が含まれ最終的な受診者数、受診率とは一致しません

※4 事業は東京都医療政策包括補助メニュー がん検診受診率向上事業(補助率10/10)を活用して行いました

八王子市の受診勧奨 今後の方向性

がんによる早すぎる死を防ぐために、受診率向上効果の確認された、あるいはあると思われる取組みを実施していく



40歳のキッカケ
がん検診



クーポン
受診勧奨
&再受診勧奨



2年前
クーポン受診者
受診勧奨



指針内検診へ
の誘導
視触診⇒マンモ



特定健診
同時実施
大腸がん検診
のセット化等、
システムの
組込み

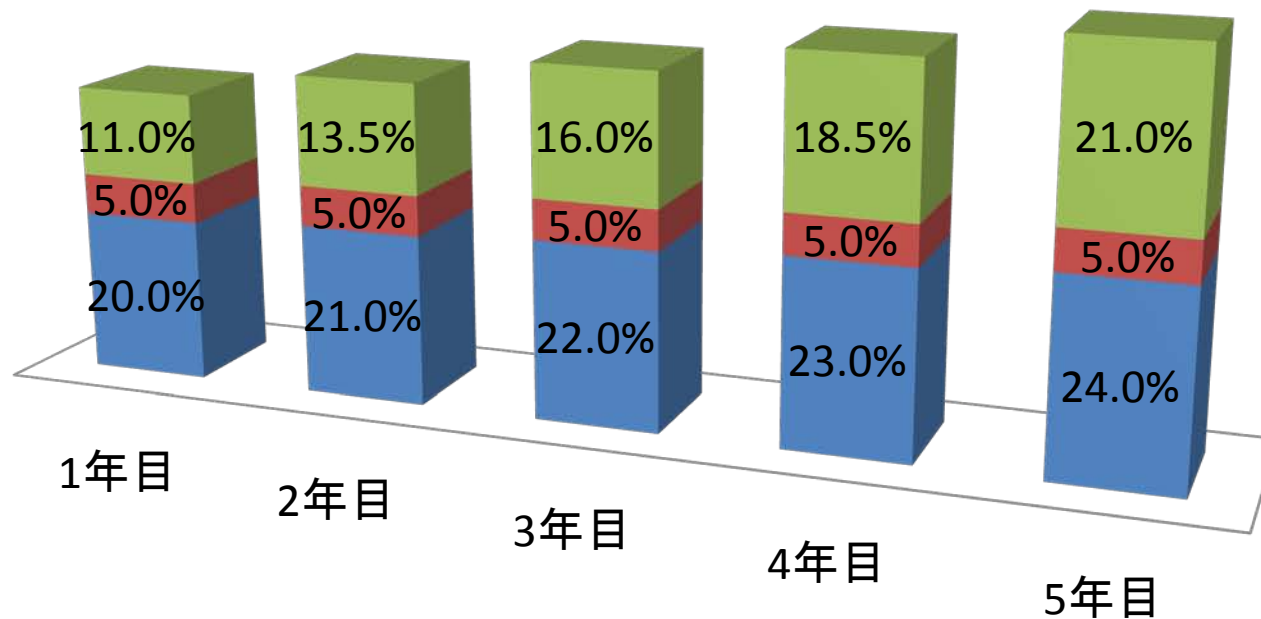


キャンペーン的なものはこれらに組み合わせる

受診率向上イメージ

新規受診者1/2定着+職域等1%増

■ 職域等受診者 ■ 新規受診者 ■ 継続受診者



22年度アンケートをもとにした八王子市がん検診受診者構成モデルを一部改編

八王子市がん予防推進計画 平成25～29年度

早すぎる

基本理念

「がん」にならない 「がん」による死を防ぐ
笑顔あふれる健康なまちづくり

基本方針

- － 1. 「がんによる早すぎる死を防ぐ」対策の推進
社会や子育ての担い手である働き盛り世代のがん死亡を防ぐための施策を実施します
- － 2. 生活習慣病としてのがん予防策の推進
保健医療計画との共通指標により、がんにならないための予防策を推進します
- － 3. がん予防の啓発活動とがん教育の充実
市民協働の取り組みや、若年層や家庭への取り組みを進めていきます

「がん」にならない／「がん」による早すぎる死を防ぐ／笑顔あふれる健康なまちづくり



八王子市がん予防推進計画

平成25～29年度

科学的根拠に基づいたがん検診による死亡率減少のための3つの段階※5

本市では、効果あるがん検診を推進しており、より高い水準を目指しています

有効な検診を

科学的に死亡率
減少効果が明らか

STEP.1

がん検診の方法等の検討
(がん検診アセスメント)

がん検診を行うことで、がん死亡率を確実に減少させるか、国内外の研究を科学的に吟味し、対策型検診として実施すべきか否かの判断を「ガイドライン」としてまとめ、有効ながん検診を明らかにすることです。

より確かな質で

検診の質の向上と維持

STEP.2

がん検診の事業評価・精度管理
(がん検診マネジメント)

有効性の確立したがん検診でも、正しく実施しなければ真の効果を発揮できません。そのため、現状のがん検診が正しく行われているかどうか検証しながら、不十分な点を改善し、精度を維持・向上させていくことが重要です。

より多くの人に

受診率を向上させる

STEP.3

受診率対策

有効性の確立したがん検診を高い精度で実施しても、多くの人を受診しなければがん死亡率の減少は達成できません。受診者の方々にがん検診に関する正しい知識を持っていただき、適正に受診していただくための対策が重要となります。

死亡率の減少

がん検診の3本の柱はいずれか1本でも欠けていると、目標に到達できません。3本の柱が互いに支え合うことで、当初の目的であるがんの死亡率の減少が達成できます。本編では、これを3段跳びになぞらえて、ホップ・ステップ・ジャンプとしています。

※5「がん検診は誤解だらけ―何を選んでどう受ける」斉藤博(NHK出版生活人新書2009/11)を参考に作成



八王子市のがん予防推進計画に盛り込んだがん検診5つの目標

◎今回の検討の過程で明らかになったことの1つとして、
本市には根付いた「がん」撲滅のための高い潜在能力があることが判りました。
それを活かすべく設定されたのが下記の5つの目標です。

- 1 科学的根拠に基づくがん検診の実施(より適切な方法・間隔による)
- 2 都内区市で精密検査受診率1位
- 3 がん検診の質の高さを表す各指標※7の目標値クリア(全国の上位10%)
- 4 国のがん検診事業評価チェックリスト※8の遵守率100%
- 5 受診率を上げ続ける(40-50歳代から50%を目指す)

※7検診の質の高さを表す各指標…要精検率(受診者のうち、要精密検査となる人の割合)、精検受診率(要精密検査となった人のうち、精密検査を受診した割合)、陽性反応的中率(要精密検査となった人のうち、がんが見つかった人の割合)、がん発見率(受診者のうち、がんが見つかった人の割合)、などがある。

※8チェックリスト…ここで触れているチェックリストとは国の「がん検診事業評価のためのチェックリスト」【市町村用】を指す。検診対象者／受診者の情報管理／要精密検査率の把握／精密検査の有無と受診勧奨／精密検査結果の把握／検診機関の委託などの6分野37項目



**守ろう!健康
受けよう!がん検診
八王子市**